

第2回小田原市福祉施設指定候補者選定委員会議事録

- 日 時 平成29年11月6日（月）午前10時00分～午前11時10分
- 場 所 第3委員会室
- 出席者 ◎神名部耕二委員、杉崎智委員、後藤賀津子委員、市川昭維子委員
露木康男委員
（◎：委員長）
- 事務局 福祉政策課長、高齢介護課介護給付・認定担当課長、地域福祉係長、
介護給付係長、高齢介護課主査
- 欠席者 0名
- 傍聴者 0名

【議事】

- 議題（1） 小田原市鴨宮ケアセンターの指定管理者に対する申請者の審査について
- 議題（2） その他

小田原福祉会

（説明）

- ・提出書類及びパワーポイント資料に基づき説明。

露木委員

（質問）

- ・小田原市の委託事業であるという意味からも、地域貢献を行うことが求められていると思うが、具体的にどのような活動を行っているのか。

小田原福祉会

（回答）

- ・地域で行われる会合や防災訓練などに参加し、地域に認知していただけるよう活動を続けている。また休館日にフェスティバルを開催し、利用者以外の方にも来館していただくといった取組を行っている。
- ・今後はケアマネージャーを市民の相談窓口として幅広く活用するといった対応ができればと考えている。

露木委員

(質問)

- ・要介護者等の家族に対するケアは何か行っているのか。

小田原福祉会

(回答)

- ・ご家族の方に状態を知らせるために、「通い手帳」による情報交換を行っている。また、認知症の利用者のご家族には、認知症サポーター講習を実施するなど、関係を密に取っている。
- ・ほかにケアマネージャーが月1回ご家庭を訪問し、介護計画の相談等を行っている。

市川委員

(質問)

- ・デイサービスに通う男性は少数である。男性の利用者を増やすために何か対策はしているのか。

小田原福祉会

(回答)

- ・統計による比率と比較すると男性率は高いと言える。それでも女性の利用者が7割を占める状況である。
- ・男性向けに囲碁や将棋、麻雀などを取り入れ、継続して利用していただけるよう努めている。

後藤委員

(質問)

- ・平成28年度は人件費の減少により売り上げが増えているようだが、これはどういう理由によるものか。
- ・また、1年以内の借入金が大幅に増加しているがどういった理由によるものか。

小田原福祉会

(回答)

- ・平成27年度は人件費率が78%を超えており、赤字を計上していた。平成28年度は職員との話し合いにより、人件費を削減させてもらった。その分が利益として計上されたものである。それでも人件費率は73%であ

り国の平均値の65%よりかなり高いものとなっている。

- ・ 1年以内の借入金については施設の建設に伴うもので、平成29年度以降は長期の借入金として計上される。平成28年度中に施設が完成しなかったため、建設仮勘定に計上している。

神名部委員長

- ・ それでは採点をお願いします。

<採点結果集計>

事務局

- ・ 採点結果は、50点満点中34.8点である。得点率は69.6%で審査基準の60%以上を満たしている。

神名部委員長

- ・ 各委員に諮るが、社会福祉法人小田原福社会を小田原市鴨宮ケアセンター指定管理候補者として選定してよろしいか。

委員全員

- ・ 異議なし。

神名部委員長

- ・ 委員会として候補者に要望を出すことができるが、何かあるか。

市川委員

(意見)

- ・ 地域貢献について、積極的に取り組んでもらいたい。

神名部委員長

- ・ 小田原福社会としても、地域貢献が弱いとの認識もあることから、事業計画等に基づきより一層地域貢献に励んでいただきたいといった内容を要望事項に記載するというところでよろしいか。

委員全員

- ・ 異議なし。